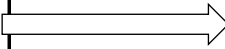







尿道からの結石破碎術を受けられる患者様へ

<予定入院期間 6日間>

1枚目

日数	手術当日		手術後1日目	手術後2日目	手術後3~5日目
	手術前	手術後			
治療・処置		手術後、尿を出す管が入ってきます。管が詰まらないようにする灌流液がついてくることがあります。	朝、医師の回診があります。診察の結果で尿の管を抜きます。		
薬・点滴	朝9時頃から点滴を始めます。薬の内容によっては、朝の薬を服用して頂くことがあります。	手術後痛みが強い場合は、指示された鎮痛薬を採用します。また、夜間眠れるように環境調整をします。必要時、薬剤検討します。	抗生剤の点滴が朝・夕にあります。	抗生剤の内服が開始になります。	
検査			朝、採血があります。腹部のレントゲンがあります。		
安静度		手術後は翌朝医師の回診が終わるまでベッド上安静となります。寝返りはできません。	医師の許可後、歩行ができます。初めて歩くときは看護師が付添います。その後は制限はありません。		
食事	前日の21時から引き続き禁食です。飲水は : まで可能です。ただし水、お茶にしてください。	3時間後より飲水ができます。医師の指示により夕食または朝食より開始となります。	尿の出を良くするために水分を多くとるように心がけて下さい。(1000 ~ 1500ml) 朝から食事が始まります。		
清潔	起床後、洗面、歯磨き、髭剃りを済ませてください。		温かいタオルで身体を拭き、着替えます。ウォシュレットは使用可能です。		手術後3日目以降、シャワー浴が可能です。
排泄	 	ベッド上での排泄になります。	尿意があっても尿が出ない時や、下腹部が張って苦しい時はすぐお知らせください。		
説明	手術に行く前にT字帯と弾性ストッキングを着用します。時計、入れ歯、ウィッグ、貴金属類、コンタクトレンズは外してください。	ベッドで病室にもどります。	尿の管が抜けた後、退院まで袋に尿をためていただきます。カップの場所や方法について説明します。		
	手術時間となりましたら、看護師と歩いて手術室(4階)へ向かいます。	気分の悪いとき、痛いとき、下腹部が張って苦しい、管の違和感がある時は看護師にお知らせください。			
その他	入院生活・手術についてパンフレットしながら担当看護師より説明があります。				

上記は予定となります。変更時はその都度説明します。